

不易と流行

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝

文責 三宅 智

●中間考査が終わり、6月の検定ラッシュ！【全学年】

今年もあっという間に高体連支部大会、中間考査までが終わりましたが、国際流通科の生徒においてはここからも正念場です。6月18日(日)は全商ビジネス計算実務検定、6月25日(日)には全商簿記実務検定、7月2日(日)には全商ビジネス文書実務検定が実施されます。申し込んだ検定試験は全て合格できるよう頑張りましょう。

○6月18日(日)：全商ビジネス計算実務検定

【1年生】1年生は初めての検定試験へのチャレンジとなります。2級は例年ほとんどの生徒が合格していますが油断は禁物。検定試験当日は、いつもの実力の8割くらいしか出せません。普段から過去問題や模擬問題で90点以上とれる実力をつけておけば、本番で8割の実力でも70点を越えることは可能です。万全の準備が必要です。



【2年生】2年生は全商検定1級初挑戦です。普通計算部門を取得している生徒が多いので、ここでビジネス計算部門を取れば1級の完成です。過去問題や模擬問題を繰り返すことで自信をつけて本番に臨みましょう。2級に比べて難易度は高いですが頑張りましょう。

【3年生】昨年度の出題内容の変更によって問題集のできあがりが遅かったのもあり、対策が難しかったと思います。今回は「今回は絶対に取れます」「自信があります。早く検定当日になって欲しいです」という力強い言葉を聞きました。たくさんの生徒の合格を期待しています。1級3種目合格の足がかりにしましょう。

○6月25日(日)：全商簿記実務検定

【2年生】昨年度惜しくも70点に届かず悔しい思いをしたり、新型コロナウイルスの蔓延で受験出来なかった生徒が再受験となっています。決算(貸借対照表/損益計算書・精算表)は、どの問題が出題されても出来るようにしておく必要があります。

【財務会計】財務会計の出題形式は次回(1月)より変更となるため、今までの出題形式の問題としては今回が最後となります。今回で取得したいと思っている生徒が多いと思います。付記事項に惑わされずに、やれるところから埋めることが大切です。

【原価計算】前回取得している生徒にとっては、ここで1級を完成させるチャンスです。財務会計の問題よりも取り組みやすいですが、思い込みのミス(漢字間違いなど)がなくなるように確認してください。仕訳や個別原価計算は毎回のように出題されているので反復し、他の問題は初見のものが無くなるように対策しましょう。

○7月2日(日)：全商ビジネス文書実務検定

【全学年】放課後の時間帯での練習は混み合う可能性があります。朝のSHR前や、昼休みの時間帯なども有効活用し、隙間時間を上手に使って対策しましょう。速度や実技問題に一生懸命取り組んでいても、筆記を対策していなければ級の合格に結びつきません。実技が必要のない部分について真摯に取り組む姿勢が大切です。



ビジネス計算実務検定・簿記実務検定については、文字の丁寧さが求められます。数字をきちんと書くことや、漢字の画数を変えずに書くこと、文字を重ねないこと、コンマの向きの確認など、客観的なチェックが必要です。先生や友人にも頼りましょう。

●4年ぶりにインターンシップが復活します！【2年生】

地元企業の方々のご支援を受け、4年ぶりにインターンシップが復活します。前回の国際流通科通信では「3年ぶり」と記載してしまいましたが、令和2年の中止から数えると4年ぶりにこの事業を再開できることになりました。(誤記載申し訳ありません)各企業の方々の、本校教育に対するご理解ご協力に感謝申し上げます。

今後、学年の先生よりインターンシップの希望調査を実施します。生徒の希望と受け入れ企業のバランスでインターンシップの派遣先が決定します。希望の職種に行ける生徒もいれば、そうではない生徒もいます。ですが、インターンシップの素晴らしいところは、どちらの生徒も前向きな体験を持ち帰ることができるところなのです。

○進路希望と派遣先職種がマッチングした生徒(自分に合っているのか今一度確認を)

→将来の自分と重ね合わせて、仕事の内容を学んできましょう

→自分の性格なども考慮して、希望職種が本当に自分に合っているのかについて考えましょう

→働くことについての具体的な質問をして、将来のイメージをはっきりさせましょう

○進路希望と派遣先職種がマッチしなかった生徒(こちらの生徒の方が得るものが多いかもしれません)

→自分に合っていない仕事なのか、客観的に判断できるチャンスです。全力で仕事に取り組みましょう

→その業界で物事を体験できる機会は今後訪れないかもしれません。貴重な体験を大切にしましょう

→仕事のやりがいなどを聞くことによって、進路意識の幅を広げられるか考えてみましょう

○進路希望が未定の生徒(2年生の段階で進路未定は少ないかもしれませんが…)

→働くということがどのような事なのか、体験を通して学びましょう

→職業観を持つために、自分の仕事内容に取り組むと共に、職場の人達の動きをよく見ましょう

→仕事をするのにどのような能力や資質が必要なのか考えましょう

◎全ての生徒に共通して言えること(●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝)

→働く人達へ敬意を持って接しましょう。体験させてもらえる感謝の気持ちを常に持ちましょう

→身だしなみや言葉遣いは最低限のマナーです。日頃から意識すると共に、企業訪問前にも必ず確認しましょう

→失敗をしたら嘘をついたり隠したりせず、早いタイミングで報告しましょう(悪いことほど早く報告しましょう)

●令和4年度卒業生 進路状況分析③「就職・公務員編」

昨年度の卒業生の学校紹介による民間就職者は7名、家業従事者1名、公務員合格者は6名でした。新千歳空港の求人が戻ってきたのが印象的です。新型コロナウイルスの影響後は、2年続けて民間就職の生徒が一桁となりました。コロナの影響前は20~30人近くの民間就職希望者がいたことを考えると、ここ2年は非常に少なく推移していま

令和4年度国際流通科卒業生(就職者内訳)

民間就職

ANA新千歳空港	3名
アイリスオーヤマ株式会社	1名
社会福祉法人千歳いずみ学園	1名
凸版印刷	1名
西鉄エアサービス	1名

公務員試験合格者(決定分のみ)

自衛隊(一般曹候補生)	4名
北海道職員一般行政B区分	1名
北海道警察	1名

(合格者降順・五十音順)

す。今後は、インターンシップなど職業観を育成できる状況が戻ってきていることで、この比率も少し変化があるかもしれません。国際流通科は「商業」の学科ですので、引き続き地元就職へのサポートを厚く実施していきます。

また、公務員試験合格者は前年よりも多く、6名の生徒が合格することができました。そのうち、自衛隊一般曹候補生が4名と多くなっています。千歳高校の生徒の中には、保護者が自衛隊で働いている場合も多く、その仕事の大切さや、責任の重さや、使命感などを受け継いで希望している場合が多いように感じます。身近な存在から職業観を学ぶことも大切ですので、自衛隊に限らず、保護者とのコミュニケーションを密にして、仕事の体験を聞いてみましょう。「働くこと」について考える機会を増やすことが大切です。